



『笑顔の花を咲かせよう！』 ベンチでつながる地域づくり ～伊豆の国市ベンチプロジェクト～

保健福祉・こども・子育て相談センター
☎ 0558-76-8010

平成28年(2016年)6月から始まった伊豆の国市ベンチプロジェクト。このプロジェクトは、ベンチを通して地域コミュニティを再生しようと取り組みが始まりました。

ベンチは「誰が行っても、いい。」「いつ行っても、いい。」「そこで何を話しても、いい。」「自由なふれあいの「空間」です。人や地域とつながるツールです。この1年、人との交流が途絶え、外出の機会を失い、皆さんの生活は一変しました。それでも、この「ベンチ」はいつも、同じ場所にあります。

これから少しずつ暖かくなる季節です。外の空気を吸いに、人や社会とつながるきっかけを持つ身近なベンチまで、歩いてみませんか？

きつと、普段の見慣れた景色がほんの少しだけ違って見えてくるはずです。



▲市内に設置されているベンチ

「ベンチプロジェクトに寄せて」

●伊豆の国市建設業協会 会長 土屋龍太郎さん



伊豆の国市建設業協会は「安心・安全で明るく活力あるまちづくり」に貢献を

目標に掲げ、本業としての取組(災害対策・対応も含め)はもちろん、地域の元気を守るという事にも積極的に取り組んでいます。そのひとつが福建協働、このベンチプロジェクトです。

高齢者だけでなく多世代の地域住民が通える場づくりとして、色や形、使い方も自由自在である手作りベンチが、地域の見守りの目や安心感を根付かせることに寄与すると考えます。それ以外にも、ベンチを作る過程で建設業者と住民との交流が生まれるこの取り組みは「ありがたい」というホッコリとした繋がりを作ってくれています。

また、高校生や他団体との連動もできています。

住民の暮らしに密着した活動を展開する「福祉」と地域密着型産業を掲げる「建設業」は決して遠い存在ではないと感じます。暮らしやすい地域づくりを推進し、地域力の向上、住民や

事業者にとって魅力ある温かい町であるように今後もご協力お願いします。

●田京区長 西尾清さん



田京区がベンチプロジェクトへ参加した動機は？

地域や個人が有事の際に「相互扶助ができる地域」になりたいという想いで、平時からの「関係づくり」が大切と考え、区の活動を知っていた「見える化情報発信」と世代を超えたコミュニケーションの醸成をめざし「交流の場づくり」にベンチプロジェクトの力をお借りしました。

ベンチ設置後、どのように活用していますか？地域にどんな変化がうまれましたか？

光沢ある飾色のベンチ2台を設置し、区民の方が散歩の途中で腰かけたり若者がちよつと休憩したり、ベンチ横に設置したサッカー、ゴルフのオートラクションで下校時の児童が楽しそうな声を発しながら遊び、ベンチを机にして宿題をしたりし、交流が広がりはじめます。(※田京区では、Twitterを活用して区情報発信しています。その中に『ベンチの風景』も掲載しています。ぜひ検索してみてください！)

今後、ベンチプロジェクトを通して地域のつながりづくりをどのように展開していきたいと、夢を描いていますか？

交流の場を広げるためにベンチの設置箇所を増やしたいと考えています。まずは現状公民館前の2台の反対側にもう2台対称にベンチを配置し、テールや日よけなども設置し、公民館と公民館前を区民の皆さんの憩いの場とするべく模索しています。

●そこに座ると誰かが 声をかけてくれる… コミュニティが生まれる

市では、「ベンチ」から広がる地域コミュニティづくりを推進しています。「自分の足で、自分のチカラで、あのベンチまで…」歩を進めることで、高齢者は生きがいを持ち、子どもたちの会話が増え、大人たちの「気にかける」視点がうまれます。街には、にぎわいの時が流れます。

今はまだ、大きな声は出せないけれど、ベンチに腰を掛けて少し距離があってもにっこり笑い合う。そこに

は笑顔の花が咲きます。笑顔の花を、あなたのそばで咲かせてみませんか？皆さんのお近くにある作り手の温かい気持ちやぬくもりを感じに、ぜひベンチまで歩を進めてみてください。

市内に設置されているベンチは、HPに写真を掲載していますので、ぜひご覧ください。



▲ベンチマップQRコード



▲市内のベンチ分布マップ

●ベンチメイト募集中

ベンチ製作や設置場所の提供、見守りなどで地域のコミュニティづくりへ協力いただいているベンチメイトも増えています。「地域のコミュニティづくりに一役を担いたい」など興味があれば、ぜひ相談センターにお声かけください。